

無所属

矢田 真佐美 議員

令和6年 夜間に南海トラフ地震に鈴鹿市が被災したら

(質問) 発災直後の対策として対策本部や避難所、救護所の設置について、また市民への情報周知、建物被害への被災者支援について問う。

(答弁) 南海トラフ地震が発生した場合、全職員が参集し災害対応を行う。また、職員は現場派遣を含む可能な限りの手段を講じて被害状況の収集を行い、市長を本部長とし、平時の組織体制と命令系統をベースに災害に対応する。18か所に救護所を設置し、医師会等と連携し医療救護活動を実施する。仮設住宅等各種制度の手続きがスムーズに進むよう被災者支援に努めていく。



諸派
(日本共産党)

高橋 さつき 議員

大阪・関西万博の学校招待について

(質問) 万博は本年3月、土壌から発生したメタンガスに溶接工事の火花が引火し爆発事故が発生した。毎日2トンのメタンガスが発生し、今後どこでも爆発の危険がある。下見もなく避難計画もない万博は安全が保障できず学校行事に適さない。早急に適切な場所に変更すべき。

(答弁) 来場を予定している中学校は3校、検討中は小中学校合わせて10校。安全確保が困難と判断された場合、行先変更も選択肢の一つとして適切に対応する。

その他の質問 ○学校給食費 ○子ども
の養育費確保の支援



諸派
(日本共産党)

石田 秀三 議員

学校再編に関する問題について

(質問) 市教育委員会の「スクールバス導入調査報告書」は、南部の天栄中校区と西部の鈴峰中校区を対象とした学校の統廃合を進める方向に沿って出されている。南部3小学校の統廃合問題が議論の途中であるが、その先の何も話がない鈴峰中校区までも既定事実のように扱うやり方は早計ではないか。

(答弁) 学校再編の課題の1つとして、スクールバス導入の検討に当たり、過少規模校の見込みとなる学校も対象地域に選定し、幅広くシミュレーションを行っている。

その他の質問 ○住民税非課税世帯



市民の声

市川 哲夫 議員

ペット対策について

(質問) 本市のTNR活動に関する取り組み、また、避妊・去勢手術の取り組みについて伺う。

(答弁) 令和5年度に三重県が実施したTNR活動により本市で保護され避妊・去勢手術を施された猫は95匹で、県と連携、協力して動物愛護管理に関する市民からの問い合わせや相談などに対して情報の共有を図るとともに、広報などで啓発を行っている。また、本市は飼い猫のみを対象としていた避妊・去勢に係る手術費用の一部助成を、今年度から飼い主のいない猫にも拡充している。

その他の質問 ○市南部地域の取り組み



市民の声

市川 昇 議員

鈴鹿市の財政について

(質問) 一般会計当初予算が毎年増加するが、人口減少と少子高齢化が加速し将来自主財源の減少が予測される中、これから市はどのように予算編成を描いていくのか、市の財政のこれからの見通しと展望についてお聞きしたい。

(答弁) 市民生活に必要な都市機能を維持確保し質の高い市民サービスを提供していくためには行政コスト削減だけでなく、人口減少抑止策として掲げた基本施策を推進していくための事業などに効果的に予算配分を行い、持続可能な行政経営に努める。

その他の質問 ○鈴鹿市の文化行政



新緑風会

河尻 浩一 議員

子どもたちに係る福祉について

(質問) ①放課後等デイサービス事業の現状について、②5歳児健診について、③児童虐待と支援について、伺う。

(答弁) ①放課後等デイサービスは年々需要が増加している。事業所により支援内容に違いが見られる中、事業所と連携し、質の向上に努めている。②5歳児健診は本格実施から5年が経過し、一定の方向も確立してきた中で、改善方法の検証を行い、途切れのない支援の充実を図る。③児童虐待と支援では、養護相談のさらなる充実を図り、虐待事案の減少を図る。

